

平成26年度第1回土岐市男女共同参画懇話会

平成26年8月29日（金）

文化プラザ特別会議室 14時～

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 題

（1）平成25年度男女共同参画プラン実施状況及び
平成26年度以降の事業の方向について

（2）その他

4. 閉 会

平成26年度 第1回土岐市男女共同参画懇話会 会議録

日時：平成26年8月29日（金）14:00～15:00

会場：土岐市文化プラザ 特別会議室

発 言 者	内 容
	議題1 平成25年度男女共同参画プラン実施状況及び平成26年度以降の事業の報告について
事 務 局	議題1について説明
委 員	市役所では、毎月8の付く日を「早く家庭に帰る日」と設定しているとあるが、実績等はどうか。子育て世代にとっても継続していただくとよいと思う。
事 務 局	庁内の掲示板で職員へ周知をしており、職場内でも声掛けをしている。
委 員	女性を対象としたセミナーを開催したとあるが、企業では管理職が男性であることが多い。管理職の意識を変えるための管理職向けセミナーを開催してはどうか。
事 務 局	ご意見を参考に、担当課へも提案をさせていただく。
委 員	市役所の女性は、キャリアアップに対する意識はどうか。職場の環境やサポートも必要であると思う。
事 務 局	把握できていないが、意識は個々により違うのではないか。
会 長	ふれあい体験学習の回数が昨年度は4回、今年度は2回とあるが、変更したのはどうしてか。
事 務 局	参加者が少なかったことと、対象を中学生・高校生から中学生のみに限定したことによるものである。
会 長	対象外となった高校生への代替事業等は検討しているのか。
事 務 局	要請があるなら、学校への出前講座等を検討している。
委 員	男女共同参画の研修等の取り組みについては、市役所内はもちろん市内の民間企業へも発展していくものであると良いと思う。名古屋市では、入札・契約時に子育て支援に取り組んでいる企業への優遇措置を行っている。企業に取り組んでいただけるような施策を実施することが大切ではないか。
委 員	市民意識調査の結果が、横ばいであるとのことであるが、成果がないように感じられる。どうすると結果として表われてくるかを考えてほしい。
会 長	意識調査では、医療や子育てを重要と回答する方が多いと思うが、これも男女共同参画につながるものである。 父親の家庭教育学級への参加については、どのような内容であったか。
事 務 局	体操、木工教室、読み聞かせ等である。
会 長	家庭教育学級の内容は、これは父親がするものというような役割を固定化するものにならないよう配慮が必要である。募集時も父親限定にしない方がよいと思う。
委 員	どなたでもとなっていると男性は参加しづらいのではないか。男性が参加しやすいような説明や案内が重要だと思う。
委 員	母子・父子家庭への配慮も必要ではないか。

委 員	女性の管理職への登用についてであるが、市役所の一般行政職での女性登用を推進してほしい。また、支所等の出先の管理職に女性を登用する等はインパクトがあつてよいのではないか。
委 員	男性の育児参加を支援してほしい。特に経営者や管理職には、部下の育児に対する理解を示せるよう意識を変えてもらいたい。
会 長	市では管理職に対して人事評価についての研修はあるのか。人事評価に子育てに不利になるような項目はないか。
事 務 局	人事評価についての研修は実施している。そのような項目はない。
委 員	夫婦共働きであっても熱が出た子どもを迎えに行くのは女性の方が多い。男性が迎えに行きやすい環境を整えることで女性も管理職に就きやすいのではないか。夫婦で話し合っているのだからよいが、女性がするのが当たり前ではないと思う。
	議題2 その他について
事 務 局	10月23日（木）に男女共同参画講座を開催する。ぜひ参加いただきたい。
	まとめ
会 長	男女共同参画プランは第1次から第2次に移行した。今後も事業を一つ一つ着実に実施してほしい。
事務局	より具体的な事業の方向性や目標値についてご意見をいただくことができた。ご意見を反映させ男女共同参画を推進していきたい。